

## 特別展 「国宝 聖林寺十一面觀音 —三輪山信仰のみほとけ」

2022年2月5日（土）～3月27日（日） 会場：奈良国立博物館 東新館

2022年2月5日（土）～3月27日（日）の期間、奈良国立博物館にて特別展「国宝 聖林寺十一面觀音 —三輪山信仰のみほとけ」を開催いたします。

奈良県桜井市にある聖林寺の国宝 十一面觀音菩薩立像は天平彫刻の名作で、日本を代表する仏像のひとつです。法隆寺の国宝 地蔵菩薩立像とともに、江戸時代までは同市の大神神社（おおみわじんじゃ）にありました。大神神社は本殿を持たず、三輪山（みわやま）を拝む自然信仰をいまに伝えますが、奈良時代以降には仏教の影響を受けて神社に付属する寺（大神寺（おおみわでら）、後に大御輪寺（だいごりんじ）に改称）や仏像がつくられました。

本展では、大御輪寺にあった仏像や大神神社の自然信仰を示す三輪山禁足地の出土品なども展示します。十一面觀音菩薩立像が奈良国立博物館で展示されるのは、1998年の特別展「天平」以来24年ぶりとなります。比類なき美しさをご覧ください。



### 開催概要

特別展名：特別展「国宝 聖林寺十一面觀音 —三輪山信仰のみほとけ」

会期：2022年2月5日（土）～3月27日（日）

会場：奈良国立博物館 東新館（〒630-8213 奈良市登大路町50番地）

休館日：2月7日（月）・21日（月）・28日（月）・3月22日（火）

開館時間：午前9時30分～午後5時（土曜日は午後7時まで）

※入館は閉館の30分前まで。

観覧料金：一般1,400円（1,200円）高大生1,000円（800円）小中生500円（300円）

※（）は前売料金。

※前売券の販売は2021年12月6日（月）から2022年2月4日（金）まで。

※本展は日時指定制ではありません。

※障害者手帳またはミライロID（スマートフォン向け障害者手帳アプリ）をお持ちの方（介護者1名を含む）、奈良博プレミアムカード会員の方（1回目及び2回目の観覧）は無料（要証明）。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員（学生）の方は400円、同（教職員）の方は1,300円で当日券をお求めいただけます（要証明）。参加校など詳細は、奈良国立博物館公式サイトなどでご確認ください。

※観覧当日に証明書・会員証などの提示が必要です（一般と小学生以下を除く）。

※団体料金の設定はありません。

※館内が混雑した場合は、入場を制限する場合があります。

※本展の観覧券で、同日に限り、特別陳列「お水取り」、特集展示「新たに修理された文化財」（3月1日（火）から）、名品展（なら仏像館・青銅器館）もご覧になれます。

主催：奈良国立博物館、読売新聞社、文化庁、日本芸術文化振興会

特別協賛：キヤノン、JR東日本、日本たばこ産業、三井不動産、三菱地所、明治ホールディングス

協賛：清水建設、高島屋、竹中工務店、三井住友銀行、三菱商事

協力：日本香堂、仏教美術協会

お問合せ：ハローダイヤル 050-5542-8600

展覧会公式サイト：<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/shorinji2020/>

展覧会公式Twitter：@shorinji2020

### 聖林寺

十一面觀音菩薩立像をまつる聖林寺は、奈良県桜井市にある真言宗室生寺派（むろうじは）の寺院です。

山号は靈園山（りょうおんざん）、本尊は地蔵菩薩で、開基は藤原鎌足の子である定慧（じょうえ）とされます。

三輪山の山稜や、箸墓（はしはか）古墳など古代大和の古墳が散在する奈良盆地の東半分を望むことができます。



聖林寺外観

## 本展の見どころ

### 【国宝「十一面觀音菩薩立像」、奈良博で24年ぶりの公開、360度ぐるり観覧】

奈良時代（8世紀）に造られた天平彫刻の名品中の名品。展覧会に出る機会は少なく、奈良国立博物館では平成10年（1998）の特別展「天平」以来の出陳です。威厳のある表情、均整のとれた体軀(たいく)、姿勢、しぐさの美しさを360度さまざまな角度から観覧できます。

#### 日本彫刻の最高傑作、奈良国立博物館では24年ぶりの公開

##### プロポーション

8等身のすらりとした姿が魅力です。

胸は厚く腰はくびれ、充実した肉体表現がみられます。

##### 頭上面

頭上には11の面がありました。現在は頂上の仏面1、菩薩面2、怒った面3、牙を出した面2が残ります。いずれも制作当初の表現豊かな面です。

##### 顔

目が吊り上がったきびしい表情です。

口元がわずかにさがっているのもその印象を強めます。

##### 衣文

細い襞や太い襞、ふくらみのあるもの鋭いもの。

柔らかな衣を実写的に表すために、さまざまな襞が表現されています。

##### 天衣

両腕から台座に垂れる天衣の曲線の美しさは他に例をみません。

##### 腕・手

力を抜いてゆったりと伸ばした腕と、指先の美しさに目をうばわれます。左手には優雅に水瓶を捧げ持ちます。

##### 台座

台座は咲きほころぶ蓮の花をかたどっています。花弁がひろがった華やかな表現は、天平美術の特徴です。



国宝 十一面觀音菩薩立像  
木心乾漆造り、漆箔 像高209.1cm  
奈良時代 8世紀 奈良・聖林寺蔵

### 【三輪山信仰のみほとけが約150年ぶりに再会】

大神神社の境内には神宮寺（神仏習合のあらわれとして、神社に付属する寺）である大御輪寺がかつてあり、聖林寺の十一面觀音菩薩立像とともに、数体の仏像が安置されていました。それらは、明治時代初頭の神仏分離政策により、大御輪寺から奈良県内各地の寺院に移されました。本展覧会では、かつて聖林寺の十一面觀音菩薩立像とともに、大御輪寺に祀られていた仏像も展示します。一堂に会すのは約150年ぶりのことです。



国宝 地蔵菩薩立像  
木造、彩色 像高172.7cm  
平安時代 9世紀 奈良・法隆寺蔵



日光菩薩立像（部分）  
木造、漆箔 像高166.3cm  
平安時代 10~11世紀 奈良・正暦寺蔵



月光菩薩立像（部分）  
木造、漆箔 像高164.5cm  
平安時代 10~11世紀 奈良・正暦寺蔵

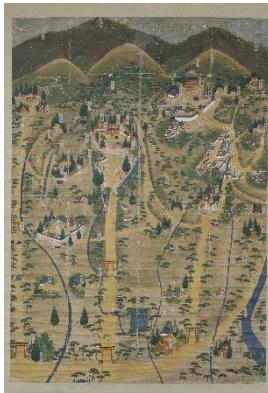
明治時代初頭に大御輪寺から聖林寺、さらに斑鳩町(いかるがちょう)の法隆寺へと移されました。ヒノキ材の一木造りで、太づくりの体軀は実在感にあふれ、顔立ちは平安時代初期の密教彫刻に通じます。美しく整えられた衣の襞も見どころです。現存する地蔵菩薩像のなかでも最も古い優品の一つです。

月光菩薩立像(がっこうばさつりゅうぞう)とともに、大御輪寺から奈良市菩提山町(ばだいせんちょう)の正暦寺(しょうりやくじ)に移された仏像で、神仏分離前の三輪山信仰の形を今に伝える遺宝の一つです。ケヤキ材の一木造りで、高い宝冠(ほうかん)や大ぶりな目鼻立ちや大きな耳、腰高で抑揚のあるプロポーションなど、平安時代前期の古様を示しています。

日光菩薩立像(にっこうばさつりゅうぞう)とともに、大御輪寺から奈良市菩提山町の正暦寺に移されました。ヒノキ材の一木造りで、平安時代後期の様式に通じる面長(おもなが)で穏やかな面相など、日光菩薩像と作風が異なります。一方で、奥行に厚みがある表現など平安時代前期風の要素もとどめており、日光菩薩像と同じ頃に制作されたと考えられます。

## その他の主な出陳品

三輪山信仰や神仏習合にかかる遺宝の数々を紹介します。



三輪山絵図  
紙本着色 縦179.0 横127.0cm  
室町時代 16世紀 奈良・大神神社蔵  
(展示期間: 2/5~2/27)

三輪山の山麓に鎮座する大神神社の、中世末期における神域の景観を描いた絵図で、当時の様子をしのぶことが出来ます。中央の参道左手に大きく伽藍を構えるのが神宮寺の大御輪寺で、本堂にはかつて「十一面觀音菩薩立像」が安置されていました。



大国主大神立像  
木造、彩色 像高68.9cm  
平安時代 12世紀 奈良・大神神社蔵

大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)は、大神神社に配祀(主祭神にそえて祀られること)される大己貴神のことです。日本では大国主大神は、仏教の大黒天と同一視されたため、大黒天の姿で表されます。袋を肩にかけた姿をしていますが、古い作例では本像のように険しい表情をしています。平安時代にさかのぼる大国主大神(大黒天)像として貴重です。



大般若經 6帖 (600帖のうち)  
紙本墨書 (巻第十一) 縦25.1 横7.0cm  
平安時代 12世紀 奈良・大神神社蔵  
※写真は巻第十一 (会期中展示替あり)

大神神社に伝來した『大般若經』で、書風等から12世紀の書写と推定され、当初の600巻のうち500巻以上が現存します。「三輪山絵図」の画中に描かれる「大般若經蔵」に、かつて納められていたと思われます。神仏習合のあらわれとして、神社に伝來した仏典です。



子持勾玉 4個  
奈良県桜井市 三輪山禁足地および  
周辺出土  
石製 (最大) 長12.8 幅6.2cm  
古墳時代・5~6世紀  
奈良・大神神社蔵



重要文化財 朱漆金銅装楯  
木製、漆塗り 各縦158.0 幅41.0cm  
鎌倉時代 嘉元3年 (1305)  
奈良・大神神社蔵

勾玉は伝統的な装身具ですが、祭祀の供え物としても多く用いられました。子持勾玉(こもちまがたま)は、玉が玉を生むような姿から、魂の再生や豊穣を祈る祭具と考えられます。三輪山の自然信仰を示す遺品の一つです。

日月を金銀で表わす一对の大楯。楯は敵の攻撃を防ぐ威力の象徴であり、その力を恃んで祭礼で用いられました。本作はその現存例であり、年紀を有するため、儀式に用いる武器の基準作として位置付けられます。

## 企画チケット

### ①トートバッグ付前売券 1,900円（税込）

販売場所：ローソンチケット 詳細は展覧会公式サイトにて順次お知らせします

販売期間：2021年12月6日（月）～2022年2月4日（金）

限定枚数：200枚（先着順）

★聖林寺の国宝 十一面観音菩薩立像の光背をデザインしたトートバッグと前売券が  
お得なセットに！

※トートバッグは、会場特設ショップでも販売いたします。価格：1,000円（税込）

※トートバッグは、会期中に会場特設ショップでお引き換えください。



### ②研究員レクチャー付き！夜間特別鑑賞チケット 2,500円（税込）

実施日：2022年2月11日（金・祝）午後4時～午後6時

※当日参加できなかった場合は、会期中に1回のみ本展を鑑賞可能

販売場所：イープラス 詳細は展覧会公式サイトにて順次お知らせします

販売期間：2021年12月6日（月）～2022年2月4日（金）

限定枚数：90枚（先着順）

★特典1 本展担当の奈良国立博物館・岩井共二美術室長によるレクチャーをご聴講

★特典2 閉館後の展示室を貸し切り、1時間ゆったりご観覧

## 音声ガイド

### ナビゲーターは天海祐希さん！

穏やかな凜とした語りで、聖林寺十一面観音のみどころを、様々な視点から  
ご案内。神が宿る三輪山への信仰の軌跡も紐解きます。600円（税込）。



【音声ガイドに関するお問い合わせ】

（株）アコースティガイド・ジャパン [info@acoustiguide.co.jp](mailto:info@acoustiguide.co.jp)

## 関連イベント

### 公開講座 「聖林寺十一面観音菩薩立像をめぐって」

講師：岩井 共二（奈良国立博物館学芸部美術室長）

日時：2022年3月5日（土）午後1時30分～3時（午後1時開場）

会場：奈良国立博物館 講堂

※聴講無料（展覧会観覧券等の提示は不要です）。

※定員90名（事前申込制）。抽選による座席指定制となります。

詳細は展覧会公式サイトにて順次お知らせします

■募集に関するお問い合わせ

読売新聞大阪本社文化事業部 電話：06-7732-0063（平日午前10時～午後5時）

# 特別展「国宝 聖林寺十一面觀音—三輪山信仰のみほとけ」 広報用画像申込書

## 【画像使用全般に関しての注意】

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 特別展名、会期、会場、画像・クレジットは必ず記載してください。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。  
なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- WEBサイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを広報事務局にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙（誌）、同録DVDを広報事務局までお送りください。

## 【広報画像クレジット一覧】

番号	クレジット [指定・作品名・時代・所蔵]
□ 1	国宝 十一面觀音菩薩立像 奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵
□ 2	国宝 十一面觀音菩薩立像（部分） 奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵
□ 3	国宝 十一面觀音菩薩立像（部分） 奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵
□ 4	国宝 十一面觀音菩薩立像（部分） 奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵
□ 5	国宝 十一面觀音菩薩立像（部分） 奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵
□ 6	国宝 地蔵菩薩立像 平安時代・9世紀 奈良・法隆寺蔵
□ 7	日光菩薩立像（部分） 平安時代・10~11世紀 奈良・正暦寺蔵
□ 8	月光菩薩立像（部分） 平安時代・10~11世紀 奈良・正暦寺蔵
□ 9	三輪山絵図 室町時代・16世紀 奈良・大神神社蔵 展示期間：2/5~2/27
□ 10	大国主大神立像 平安時代・12世紀 奈良・大神神社蔵
□ 11	大般若経（卷第十一） 平安時代・12世紀 奈良・大神神社蔵 展示期間：2/5~2/27
□ 12	子持勾玉 古墳時代・5~6世紀 奈良・大神神社蔵
□ 13	重要文化財 朱漆金銅装楯（月輪） 鎌倉時代・嘉元3年（1305） 奈良・大神神社蔵
□ 14	重要文化財 朱漆金銅装楯（日輪） 鎌倉時代・嘉元3年（1305） 奈良・大神神社蔵
□ 15	メインビジュアル※クレジット不要

貴社名／						
お名前／						
部署／	ご所属／					
貴媒体名／	媒体種／					
サイトURL／						
掲載号・露出予定日／	月号（	月	日号）／	月	日発売予定	<input type="checkbox"/> WEBへの転載あり
TEL／	FAX／					
E-MAIL／						
媒体プレゼント用チケット／ <input type="checkbox"/> 希望（2組4名まで）※1点以上の広報用画像使用必須 ※チケットの発送は2022年1月下旬頃になります お送り先／〒						

## 報道に関するお問合せ

特別展「国宝 聖林寺十一面觀音—三輪山信仰のみほとけ」広報事務局（ネネラコ内）宛  
TEL：06-6225-7885 FAX：06-7635-7587 E-mail：[shorinjiten-nara@nenelaco.com](mailto:shorinjiten-nara@nenelaco.com)  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

# 特別展「国宝 聖林寺十一面觀音 ー三輪山信仰のみほとけ」 広報用画像一覧

本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。

下記、申込フォームよりお申ください。

## 広報画像申込フォーム (WEB)

<https://forms.gle/HfkBEgaFyJSvDY159>

※難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

■広報画像をご使用の際は、別紙に記載の【画像使用全般に関する注意】を必ずご確認ください。



<b>【1】</b> 	<b>【2】</b> 	<b>【3】</b> 	<b>【4】</b> 
<b>【5】</b> 	<b>【6】</b> 	<b>【7】</b> 	<b>【8】</b> 
<b>【9】</b> 	<b>【10】</b> 	<b>【11】</b> 	<b>【12】</b> 
<b>【13】</b> 	<b>【14】</b> 	<b>【15】</b> 	

## 報道に関するお問合せ

特別展「国宝 聖林寺十一面觀音 ー三輪山信仰のみほとけ」広報事務局（ネネラコ内）宛  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 E-mail : [shorinjiten-nara@nenelaco.com](mailto:shorinjiten-nara@nenelaco.com)  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル